

日本A級ディングー協会 理事会 議事録

日時 令和4年7月1日(金)15:00～

場所 若洲ヨット訓練所 会議室

1. 日本A級ディングー協会会長挨拶

葉山レガッタを10月23, 24日に予定し、全国大会として協会傘下の各チームに案内する。
2023年のJapan championshipは博多小戸にて7月第一週の開催を予定している。

2. 令和3年度JADAの活動報告

プログラムに掲載の資料: 日本A級ディングー協会活動報告に沿って理事長が報告

3. 議事

今後の大会への参加の促進について

(1) アンケート結果を集計した資料(添付1)により意見の紹介

(2) 今後の大会参加に参加しやすくなるための仕組みや支援について参加者へ意見を求めたところ、以下の意見が述べられた。

- ① 全国大会は、遠征できる楽しみもありハードルは高くても今まで通り続けて欲しい。大会を励みに練習するなどチームの意気も高まるので簡素にする必要はない。
- ② チーム内のしみついている上下関係や古いOB会的な懇親会は、若手集めの障害となっている。若手をもっと入れることを考えたい。若手に期待している。整備のことも若手に傳承したい。
- ③ 運送費は数隻まとめて、コストダウンを図る方法を検討してはいかが。
- ④ 若い人にはなぜこんな遅い船に乗っているのかを知らせるべき。A級は奥が深い艇であり、A級のレースの意味と仲間の意気込みを知ってほしい。
- ⑤ EUでは若い人がA級に乗っている。若い人をEUへ連れて行くことを検討してはいかが。
- ⑥ 10大学OBクラブ対校レースでも同じような課題がある。もう少し下の代からアンケートで広く意見を聞いてみてはどうか。
- ⑦ 金がないのか、やる気がないのか、健康が問題なのか、人がいなくなったのか、艇が古くなったのかだが、全国のどこに何艇あるのか調査してみてもどうか。
- ⑧ 自チームは西宮だけでなく葉山にも艇を置いて活動し、今回は若い女子選手も参加している。
- ⑨ 遺言による寄付などもあるのではないか。
- ⑩ 淡水艇は劣化が少ないのではないか。
- ⑪ 考え方を変えないと若手はついて来ない。

(3) JADA 活動報告の今後のA級レースの方向について説明

- ① 今後のチームのあり方のひとつとして、乗り手の合同チームもあっていい。
- ② 参加者の少ないチームに合同で乗るチャーター艇のレンタル方式も検討してはどうか。
- ③ 乗りたい人が乗れる船を斡旋、マッチングさせる仕組みを検討してはどうか。
- ④ スポンサーに寄付・援助を頼む。